

第8回 1型糖尿病研究会 プログラム

10月10日(日)

12:00 受付開始

第1会場

13:00～13:10 開会の挨拶 川崎 英二 (長崎大学病院 生活習慣病予防診療部)

セッション1 遺伝子

13:10～14:00

座長：粟田 卓也 (埼玉医科大学 内分泌・代謝内科)

1. 1型糖尿病の遺伝解析：濃厚発症家系における rare variant の探索

○川畑由美子¹⁾、貴志明生²⁾、能宗伸輔¹⁾、馬場谷成¹⁾、廣峰義久¹⁾、原田剛史¹⁾、伊藤裕進¹⁾、
守口将典¹⁾、村田佳織¹⁾、山片里美¹⁾、東本貴弘¹⁾、朴 忠勇¹⁾、錦野真理子¹⁾、山内孝哲¹⁾、
大野恭裕¹⁾、前川 聡³⁾、池上博司¹⁾

1) 近畿大学医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科、2) 第二岡本総合病院 糖尿病内科、
3) 滋賀医科大学 内分泌代謝内科

2. 12ペプチドアフィニティーカラム精製抗 AIRE 抗体を用いた Western blotting 法による AIRE 蛋白の発現解析

○松尾友仁¹⁾、進藤美恵子²⁾、野口由樹子¹⁾、永尾幸大¹⁾、小田淑恵¹⁾、吉田英子²⁾、栗崎宏憲¹⁾、
勝田 仁¹⁾、永淵正法¹⁾

1) 九州大学大学院医学系研究院 保健学部門 病態情報学、2) 同 病態修復内科学

3. 全国多施設共同研究による日本人小児 1型糖尿病およびその家族の HLA 遺伝子解析

○杉原茂孝¹⁾、緒方 勤²⁾、川村智行³⁾、浦上達彦⁴⁾、菊池信行⁵⁾、佐治博夫⁶⁾、徳永勝士⁷⁾、
雨宮 伸⁸⁾、日本小児インスリン治療研究会

1) 東京女子医科大学東医療センター小児科、2) 国立成育医療センター研究部、3) 大阪市立大学小児科、4) 駿河台日本大学病院小児科、5) 横浜市立大学市民総合医療センター小児科、6) HLA 研究所、7) 東京大学大学院人類遺伝学分野、8) 埼玉医科大学小児科

4. 劇症 1型糖尿病における抗 GAD 抗体と HLA の関連

○堤 千春¹⁾、今川彰久²⁾、池上博司³⁾、牧野英一⁴⁾、小林哲郎⁵⁾、花房俊昭¹⁾

日本糖尿病学会 1型糖尿病調査研究委員会⁶⁾

1) 大阪医科大学 内科学 I、2) 大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学、
3) 近畿大学医学部 糖尿病・内分泌・代謝内科、4) 鷹ノ子病院 糖尿病研究所、5) 山梨大学 第三内科、6) 日本糖尿病学会

5. 次世代シーケンスを用いた 1型糖尿病感受性遺伝子エクソン領域の日本人における多型解析

○山下富都¹⁾、粟田卓也¹⁾、宮下由美²⁾、大久保智子¹⁾、栗原 進¹⁾、小野 啓¹⁾、犬飼浩一¹⁾、
井上郁夫¹⁾、片山茂裕¹⁾

1) 埼玉医科大学 内分泌・糖尿病内科、2) 埼玉医科大学 中央研究施設 RI 部門

座長：永田 正男（加古川市民病院）

6. 樹状細胞における AIRE 遺伝子の発現、AIRE 蛋白の表出の検討

○小田淑恵¹⁾、松尾友仁¹⁾、野口由樹子¹⁾、進藤美恵子²⁾、永尾幸大¹⁾、栗崎宏憲¹⁾、勝田 仁¹⁾、永淵正法¹⁾

1) 九州大学大学院医学研究院保健学部門病態情報学、2) 同病態修復内科学

7. 自己免疫調節 (AIRE) 遺伝子の AIRE 遺伝子導入細胞と T 細胞における発現制御機構とその意義

○野口由樹子¹⁾、松尾友仁¹⁾、進藤美恵子²⁾、小田淑恵¹⁾、栗崎宏憲¹⁾、勝田 仁¹⁾、永淵正法¹⁾

1) 九州大学大学院医学系研究院保健学部門、2) 九州大学大学院医学系研究院病態修復内科学

8. 自己免疫性 1 型糖尿病発症・予後予測のための細胞免疫活動性を反映したバイオマーカーの探索

○高橋和真、笹井賢良、榎屋美緒、高橋 徹、長澤 幹、本間博之、山科光弘、石井基嗣、藤原史門、梶原 隆、種市春仁、武部典子、佐藤 譲

岩手医科大学内科学講座糖尿病・代謝内科分野

9. 劇症 1 型糖尿病における末梢血制御性 T 細胞内の CTLA-4 発現の検討

○長谷田文孝¹⁾、今川彰久²⁾、三柴裕子¹⁾、寺前純吾¹⁾、花房俊昭¹⁾

1) 大阪医科大学 内科学 I、2) 大阪大学 大学院医学系研究科内分泌・代謝内科

座長：永淵 正法（九州大学医学研究院 保健学部門 病態情報学講座）

10. CXCR3ノックアウト NOD マウスにおける糖尿病発症促進機構の検討

○山田善史¹⁾、大久保佳昭¹⁾、島田 朗¹⁾、及川洋一¹⁾、成見正作²⁾、松島綱治²⁾、伊藤 裕¹⁾
1) 慶應義塾大学医学部 内科、2) 東京大学医学部大学院 分子予防医学

11. インスリンペプチドと Poly (I:C) 経鼻投与による 1 型糖尿病進展阻止法の開発の試み

○中村 寛¹⁾、阿比留教生¹⁾、古林正和¹⁾、厨 源平¹⁾、佐藤 剛¹⁾、赤澤 諭³⁾、山崎浩則²⁾、川崎英二³⁾
1) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 第一内科、2) 長崎大学 保健・医療推進センター、3) 長崎大学病院 生活習慣病予防診療部

12. IL-17欠損 NOD マウスにおける、若年期のエフェクター細胞機能抑制と糖尿病発症遅延

○厨 源平¹⁾、阿比留教生¹⁾、赤澤 諭⁴⁾、中村 寛¹⁾、堀江一郎¹⁾、佐藤 剛¹⁾、古林正和¹⁾、山崎浩則²⁾、岩倉洋一郎³⁾、川崎英二⁴⁾
1) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 第一内科、2) 長崎大学 保健・医療推進センター、3) 東京大学医科学研究所 システム疾患モデル研究センター、4) 長崎大学病院 生活習慣病予防診療部

13. Granzyme B 遺伝子欠損は、NOD マウスのシクロフォスファミド誘導糖尿病の発症を抑制するが自然発症には影響しない

○古林正和¹⁾、金子智恵子²⁾、阿比留教生¹⁾、佐藤 剛¹⁾、厨 源平¹⁾、中村 寛¹⁾、赤澤 諭³⁾、山崎浩則⁴⁾、川崎英二³⁾
1) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 第一内科、2) 長崎大学病院 薬剤部、3) 長崎大学病院 生活習慣病予防診療部、4) 長崎大学保健・医療推進センター

14. 膵β細胞における Rheb 過剰発現によって誘導される mTORC1経路活性化が NOD マウスに及ぼす影響

○佐々木弘智、森山啓明、安田尚史、清水まみ、中村 晃、荒井隆志、原 賢太、永田正男、横野浩一
神戸大学大学院医学研究科総合内科

10月10日(日)

セッション4 興味ある症例(1)

15:30～16:00

座長：牧野 英一（白石病院 糖尿病センター）

15. 先行感染後数日で高血糖症状が出現し、比較的短い罹病期間で発症をみた自己免疫性1型糖尿病の1例

○及川洋一、島田 朗、富田益臣、岡田拓也、目黒 周、渥美義仁
東京都済生会中央病院内科

16. 膵腎同時移植の5年後に1型糖尿病の再発をきたしたと考えられた1例

○入村 泉¹⁾、馬場園哲也¹⁾、和田純子¹⁾、柳澤慶香¹⁾、三浦順之助¹⁾、本田一穂²⁾、中島一朗³⁾、
瀧之上昌平³⁾、内潟安子¹⁾、岩本安彦¹⁾
1) 東京女子医科大学 糖尿病センター、2) 第2病理、3) 腎臓外科

17. 移植膵にラ氏島炎を証明した1型糖尿病再発の膵腎同時移植の1例

○岩瀬正典¹⁾、石田美和子¹⁾、北田秀久²⁾
1) 九州大学大学院 病態機能内科学、2) 同 臨床・腫瘍外科学

16:00～16:10 休憩

シンポジウム 1型糖尿病診療・研究の新知見

16:10～17:30

共催：日本イーライリリー株式会社

座長：小林 哲郎（山梨大学医学部 第三内科）
花房 俊昭（大阪医科大学 第一内科）

1. 1型糖尿病の遺伝解析：モデル動物とヒトの相互比較アプローチ

池上博司、能宗伸輔、馬場谷成、川畑由美子
近畿大学医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科

2. 1型糖尿病における膵β細胞障害の機序

古林正和¹⁾、阿比留教生¹⁾、金子智恵子²⁾、佐藤 剛¹⁾、厨 源平¹⁾、中村 寛¹⁾、赤澤 諭³⁾、
川崎 英二³⁾
1) 長崎大学大学院医歯薬総合研究科 第一内科、2) 長崎大学病院 薬剤部
3) 長崎大学病院 生活習慣病予防診療部

3. 1型糖尿病におけるインスリンポンプ療法とCGMの進歩と今後の展望

川村智行¹⁾、広瀬正和²⁾、橋本友美¹⁾、柏原米男¹⁾、東出 崇³⁾、新平鎮博⁴⁾、稲田 浩⁵⁾、
青野繁雄⁶⁾
1) 大阪市立大学大学院発達小児医学教室、2) 若草第1病院、3) はぐはぐ子どもクリニック、
4) 大阪市健康保険局、5) 大阪市保健所、6) 寺田町こども診療所

4. 我が国における小児期発症1型糖尿病患者の長期予後

西村理明、森本 彩、佐野浩斎、田嶋尚子、DERI 研究班
東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科

10月10日(日)

特別講演

17:30～18:30

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

座長：川崎 英二 (長崎大学病院 生活習慣病予防診療部)

1. IMMUNE THERAPY OF AUTOIMMUNE DIABETES: THE EXPERIMENTAL
AND CLINICAL USE OF CD3 MONOCLONAL ANTIBODIES

Lucienne Chatenoud

INSERM U1013, Faculté Paris Descartes, Paris - France

19:15～ 懇親会 (宝来軒別館にて)

座長：今川 彰久（大阪大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学）

18. 抗 HIV 療法の経過中に自己免疫性糖尿病を発症した3症例

○財部大輔、六川由果、高橋義彦、後藤 温、高市麻貴、岡本将英、辻本哲郎、能登 洋、岸本美也子、鏑木康志、安田和基、本田律子、梶尾 裕、野田光彦
国立国際医療研究センター 糖尿病・代謝症候群診療部

19. DIHS に伴い発症する劇症1型糖尿病の実態調査——本邦既報症例の調査——

○大沼 裕¹⁾、牧野英一²⁾、今川彰久³⁾、藤山幹子⁴⁾、大澤春彦¹⁾、小林哲郎⁵⁾、花房俊昭⁶⁾、
1型糖尿病調査委員会
1) 愛媛大学大学院分子遺伝制御内科学（糖尿病内科）、2) 白石病院糖尿病センター、
3) 大阪大学大学院内分泌・代謝内科、4) 愛媛大学医学部皮膚科学、5) 山梨大学医学部
第3内科、6) 大阪医科大学第一内科

20. 当科における自己免疫性甲状腺疾患合併1型糖尿病（多腺性自己免疫症候群3型）53例の臨床的特徴

○堀江一郎¹⁾、川崎英二²⁾、植木郁子¹⁾、村田美美¹⁾、赤澤 諭²⁾、中村 寛¹⁾、厨 源平¹⁾、
古林正和¹⁾、桑原宏永¹⁾、安藤隆雄¹⁾、今泉美彩¹⁾、阿比留教生¹⁾、宇佐俊郎¹⁾、山崎浩則¹⁾
1) 長崎大学病院 内分泌・代謝内科、2) 長崎大学病院 生活習慣病予防診療部

座長：島田 朗（東京都済生会中央病院 糖尿病・内分泌内科）

21. GAD 抗体弱陽性の糖尿病の臨床的特徴に関する検討

○池田弘毅^{1,2)}、本庶祥子¹⁾、浜本芳之¹⁾、河崎祐貴子¹⁾、森可南子¹⁾、和田良春¹⁾、越山裕行¹⁾
1) 財団法人田附興風会医学研究所北野病院 糖尿病内分泌センター、2) 医療法人社団
正名会 池田病院

22. 緩徐進行1型糖尿病の臨床像——糖尿病診断時の肥満度で分けた比較検討——

○保科早里、三浦順之助、杉沢恵里、松田麻子、内潟安子、岩本安彦
東京女子医科大学糖尿病センター内科

23. GAD 抗体陽性インスリン非依存期糖尿病の多様性

○丸山太郎¹⁾、中川央充²⁾、春日 明³⁾、平田 匠¹⁾、小澤裕理¹⁾、森本二郎¹⁾、村田 満³⁾
1) 埼玉社会保険病院 内科、2) 慶應義塾大学臨床検査医学、3) 東京電力病院本店診療所

座長：内瀧 安子（東京女子医科大学 糖尿病センター）

24. 緩徐進行1型糖尿病の病態に対するインスリン抵抗性改善薬の影響
○伊藤 新¹⁾、島田 朗²⁾、田中久美子¹⁾、嶋原寿一¹⁾、大久保佳昭¹⁾、香月健志²⁾、山田善史³⁾、及川洋一²⁾、伊藤 裕¹⁾
1) 慶應義塾大学医学部内科、2) 済生会中央病院内科、3) 北里研究所病院内科
25. CGM を利用した1型糖尿病患者における単位時間の血糖変動傾きの検討
○今 昭人¹⁾、近澤真司¹⁾、松本敦史¹⁾、田辺寿太郎¹⁾、松橋有紀¹⁾、柳町 幸¹⁾、丹藤雄介¹⁾、須田俊宏¹⁾、中村光男²⁾
1) 弘前大学医学部内分泌代謝内科、2) 弘前大学医学部保健学科
26. 基礎インスリンのデテミルをグラルギンに変更後大幅なインスリン量の減少を認めた1型糖尿病4例の検討
○浦上達彦、羽生政子、長野伸彦、鈴木潤一、吉田彩子、齋藤 宏、石毛美夏、高橋昌里、麦島秀雄
日本大学医学部小児科学系小児科学分野
27. 当院における持続皮下インスリン注入療法（CSII）患者の現状
—— 使用における利点と欠点に関する検討 ——
○吉田彩子、浦上達彦、鈴木潤一、齋藤 宏、石毛美夏、高橋昌里、麦島秀雄
日本大学医学部小児科学系小児科学分野

座長：杉原 茂孝（東京女子医科大学 東医療センター 小児科学）

28. CGM を実施したインスリン抗体陽性の1型糖尿病女児
○木村亜希子、青木ゆかり、大川内幸代、水野達央、石川重人、赤尾雅也、林 良成
刈谷豊田総合病院 内分泌・代謝内科
29. ACTH 単独欠損症が合併した劇症1型糖尿病の一症例
○澤木秀明^{1,2,3)}、平岩哲也²⁾、谷本啓爾²⁾、今川彰久⁴⁾、寺前純吾²⁾、花房俊昭²⁾
1) 市立枚方市民病院 内科、2) 大阪医科大学 内科学I、3) 有澤総合病院 糖尿病内科、4) 大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学
30. 内因性インスリン分泌の経時的变化を観察しえた肝硬変合併緩徐進行1型糖尿病の1例
○小澤剛史¹⁾、坊内良太郎¹⁾、花井 豪¹⁾、石井晶子¹⁾、柳沢慶香¹⁾、長谷川潔²⁾、橋本悦子²⁾、内瀧安子¹⁾、岩本安彦¹⁾
1) 東京女子医科大学 糖尿病センター、2) 東京女子医科大学 消化器病センター

10月11日(祝)

セッション9 興味ある症例(3)

11:10～11:40

座長：丸山 太郎（埼玉社会保険病院 内科）

31. 糖尿病性ケトosis発症時にバセドウ病を合併していた劇症1型糖尿病と
考えられる1例

○寺崎道重、福井智康、林 俊行、長嶋理晴、森 雄作、李 相翔、土屋明子、小橋京子、
平野 勉

昭和大学糖尿病代謝内分泌内科

32. インターフェロン治療中に1型糖尿病とバセドウ病を同時期に発症した
慢性C型肝炎の1例

野口 歩¹⁾、佐藤雄一¹⁾、溝上哲也¹⁾、豊永雅恵¹⁾、井元博文¹⁾、布井清秀¹⁾、島ゆかり²⁾、
伊藤陽平²⁾、岩瀬正典³⁾

1) 雪の聖母会 聖マリア病院 糖尿病内分泌内科、2) 雪の聖母会 聖マリア病院 消化
器内科、3) 九州大学大学院医学研究院病態機能内科学

33. 妊娠中に発症した自己免疫性1型糖尿病の1例

○重本 翔¹⁾、大西峰樹¹⁾、忌部 尚¹⁾、高本晋吾¹⁾、宮脇正博¹⁾、堤 千春¹⁾、佐野寛行¹⁾、
三柴裕子¹⁾、寺前純吾¹⁾、花房俊昭¹⁾、藤田太輔²⁾、山下能毅²⁾、亀谷英輝²⁾、大道正英²⁾

1) 大阪医科大学第一内科、2) 大阪医科大学産婦人科

11:40～ 閉会の挨拶 川崎 英二（長崎大学病院 生活習慣病予防診療部）

次期会長挨拶 浦上 達彦（駿河台日大病院小児科学）

ランチョンセミナー

12:00～13:00

共催：サノフィ・アベンティス株式会社

座長：長瀧 重信（長崎大学名誉教授）

1. マウス甲状腺自己免疫疾患の病態解析——免疫反応とトレランス

永山雄二

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科附属 原爆後障害医療研究施設

2. 1型糖尿病の治療

丸山太郎

埼玉社会保険病院 内科